



伊豆市

議会だより

No.20

発行：伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集：議会報編集特別委員会
〒410-3292 静岡県伊豆市市山550 TEL 0558-85-2606 **2009.5.1** 発行



4月4日から修善寺温泉「独鈷の湯」移設工事が行われています。利用再開は、7月の予定です。

目次 CONTENTS

■ 3月議会の概要	2
■ 市長 施政方針	3
■ 委員会審査	4
■ 一般質問	6
■ 意見書	11
■ 6月議会の予定	12

平成21年度予算は、審議の結果、可決されました

一般会計予算は
137億円となりました



平成21年
3月定例会

平成21年度各種会計当初予算総括表

単位:千円

会計名	21年度予算額	20年度予算額	増減
一般会計	13,700,000	13,956,000	▲256,000
特別会計・企業会計			
公共用地取得事業特別会計	12,660	1,800	10,860
天城北道路用地取得特別会計	0	35,780	▲35,780
国民健康保険特別会計	4,041,900	4,111,230	▲69,330
老人保健特別会計	1,010	396,430	▲395,420
後期高齢者医療特別会計	327,630	321,740	5,890
介護保険特別会計	2,694,400	2,781,600	▲87,200
簡易水道事業特別会計	73,000	84,700	▲11,700
下水道事業特別会計	1,775,000	1,748,700	26,300
農業集落排水事業特別会計	210,390	118,300	92,090
湯の国会館事業特別会計	89,420	81,840	7,580
天城温泉会館事業特別会計	58,180	104,000	▲45,820
上水道事業会計	671,136	1,049,415	▲378,279
温泉事業特別会計	112,633	98,336	14,297

3月定例会が2月23日から3月13日までの19日間の会期で開かれました。
平成20年度補正予算関係8件、平成21年度予算関係13件、条例関係14件、人事関係2件、その他6件、意見書2件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。

人事・条例案件から

◆伊豆市教育委員の任命

任期満了に伴い、原京氏（修善寺）が再任されることに同意しました。任期は、平成21年5月12日から4年間です。

◆人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、大澤典明氏（下船原）が候補者となることに同意しました。任期は、平成21年7月1日から3年間です。

◆伊豆市国民健康保険税条例

納期が6期から8期に改正され、第1期が7月となり、それ以降は2月まで毎月の納期となりました。

納期	
1期	7月15日から同月31日まで
2期	8月15日から同月31日まで
3期	9月15日から同月30日まで
4期	10月15日から同月31日まで
5期	11月15日から同月30日まで
6期	12月15日から1月5日まで
7期	1月15日から同月31日まで
8期	2月15日から同月28日まで (閏年にあつては29日まで)

最重要課題

「人口減少に歯止めをかける」

**市長施政方針の
ポイント**



1 緊急に措置する施策

(1) 子育て支援

内容は、10万円を上限とした不妊治療の助成、妊婦健診の助成回数等を5回から14回に増加、3万円の出産準備金を妊娠22週目以降の親御さんに支給、出産祝い金（継続、第二子に2万円、第三子以降5万円）の支給、子供の医療費助成（自己負担五百円）の対象を未就学児までを小学校6年生までに増枠。総額で一億円超を計上します。

(2) 教育施設の耐震化

3月補正予算に天城中学校の体育館耐震工事を計上し、新年度予算で修善寺南小学校の体育館建替

え、修善寺東保育園の耐震工事計画。これにより、学校等の主要施設の耐震化はおおむね完了します。

2 人口減少に歯止めを

(1) 住宅を増やす

世帯を誘致すること、所得を増やし市内経済を安定させること、仕事を増やし就職に伴う転出を抑制することを柱と考えます。

現在、構想策定中である修善寺駅周辺整備事業を具体化し、伊豆箱根鉄道を利用する通勤の利便性を高めます。

(2) 所得を増やす

観光関係では、10月から11月にかけて開催される国民文化祭を軸に、宿泊客数の10%増を目指します。市費は一千万円、国・県の補助を合わせると全体では三千万円の事業となります。

また、観光資源を総合的に活用するため、職員数人を観光協会内に駐在させ企画調整業務に当たらせませす。

農業・林業関係では、売り上げの半分を占める山葵、椎茸の販路拡大を目指すとともに、地産地消

を進める具体策を検討するため農林水産課に計画振興係を新設。

商工業関係では、市内の製造事業者で競争力のあるものについては市としても積極的に販路拡大に協力します。

(3) 仕事を増やす

新生伊豆総合高校の人材を活用できるIT関連企業、農水産物の加工工場など、特性のある企業の誘致に向けて、努力します。

3 魅力あるまち創り

豊かな社会を形成するため、文化事業と体育事業の振興が欠かせません。

文化事業振興のため職員数名を本庁内に駐在させ、文化振興の企画調整事務と国民文化祭との緊密な連携を図ります。

4 当面の課題

(1) 公共料金

水道料金の統一は、21年度中の実現を目指します。水道審議会の答申を基に、上水道は今後五年間の事業計画と周辺市町の料金を参考に、適正な料金体系に移行すべ

きと考えていますが、料金改定の際の大きさの鑑み、数年をかけて段階的に統一する激変緩和措置が必要かもしれません。

ゴミ収集の有料化については、既に審議会から答申があり、早期に料金化できるよう努力します。

(2) 学校再編

学校再編の目的は、伊豆市の子ども達に最適の教育環境を与えてあげることです。公費負担の通学手段を確保し、我々大人がノスタルジーを克服することにより、大切な子ども達に理想的な教育環境を創り上げることが出来ます。

まず、小学校、幼稚園と保育園、中期的には中学校の再編も視野に入れていきます。

伊豆市は、今後十年間で約三十億円もの財源縮小が見込まれる状況にあります。

その中で「心地良い故郷」のまち創りを進めるため、これまでと同様に市民の皆さんの声に率直に耳を傾け、自ら先頭に立って未来を切り拓く所存です。

議案 チェック

委員会の議案審査で
次のような質疑が
ありました

総務教育委員会

◆20年度一般会計補正予算

問 天城中学校体育館耐震補強工事と中伊豆給食センター維持補修工事について、事業開始が夏休みからのようだが、補正予算を組む理由は。

答 国が経済対策を実施する交付金の内容が、10月末以降の事業となっており、年度内の補正においてその事業ができる状況という制度です。

急遽、この二つの事業を補正予算で取り組むものです。



今夏から耐震補強工事が始まる
天城中学校体育館（北側）

問 本庁舎改修事業の内容は。

答 国の地域活性化・生活対策臨時交付金（10割助成）を活用し、本庁舎の2階を改修して、議場を移転します。

◆20年度公共用地取得特別会計補正予算

問 土地売却収入について、公募方法や内容は。

答 市の広報紙とホームページ、新聞3社に掲載し、告知しました。8月5日に入札を行い、坪10万5千円で売却。入札参加者は1名でした。場所は、本立野です。

◆21年度伊豆市一般会計予算

問 土地鑑定委託料と固定資産基礎資料作成業務の内容は。

答 土地鑑定は、標準宅地363地点の修正を、21年7月1日時点でを行います。

基礎資料作成は、地番図や画地認定図などの更新、次回評価替えに向けての土地評価の見直し業務です。

問 中伊豆室内・天城温泉プール管理委託料が毎年減額となっているが運営に影響はないか。

答 20年度までの予算には、ろ過機の維持管理費630万円が含まれていましたが、21年度に、ろ過機改修工事を行い、維持管理費がかからない施設とするため、その分を減額しました。

指定管理者の伊豆スイムサポートは、経費削減に努めながらも、教室を充実する努力をし、市外からの利用者も増えているので、運営面の心配はしていません。

福祉環境委員会

◆21年度伊豆市一般会計予算

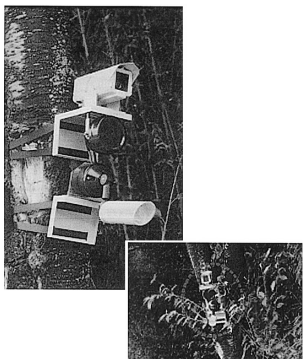
問 妊婦健診の助成が5回から14回になったが、国県からの補助はあるか。

答 現在の5回分は、交付税措置がされていますが、増加分の9回については、国から二分の一の補助があります。

なお、妊婦の方に対する助成は、初回が15,000円、2回目以降は4,000円です。

問 林道不法投棄防止用監視カメラ設置による効果はありそうか。

答 近隣の町で設置し、抑止効果があったことから、当市でもモデル的に1台設置します。



不法投棄防止用カメラ

問 社会福祉協議会補助金が減額になった理由は何か。

答 予算編成時5%減ベースで、各部にお願ひし、社会福祉協議会も同様に減額をお願いしました。

◆21年度伊豆市国民健康保険特別会計予算

問 国民健康保険税の調定額と収納率の関係は。また、現時点での対応は。

答 国民健康保険税の算出については、給付等の必要額から国庫負担金、調整交付金、一般会計繰入金等を引いて、予算計上します。

また、調定額については、現時点では、予算額を予定の収納率で割り返して算出することはできませんが、具体的な額となると、所得が確定する6月となります。

収納率については、20年度並の収納率を予定します。

◆21年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算

問 21年度より低所得者は医療保険料が9割軽減になるが、本予算には反映されていないということか。

答 現時点では見込んでいません。

◆21年度伊豆市介護保険特別会計予算

問 伊豆市では、居宅介護サービス費等の特例認定があるが、その活用と手立てが制度的に設けられていないが、検討されてきたか。

答 保険料の減免制度は、他市に比べて充実していると思いますが、制度の活用する方法については、今後の課題として検討します。

経済建設委員会

◆20年度一般会計補正予算

問 急傾斜地崩壊対策事業費900万円の減額理由は。

答 修善寺東小学校の下側で、県の補助金が当初1千800万円でしたが、900万円の補助で差額の減額補正です。

3年間の継続事業です。

◆20年度下水道事業特別会計補正予算

問 下水道の加入促進はしている

か。

答 20年度は2回行いました。21年度は、さらに加入促進します。

◆21年度一般会計予算

問 修善寺駅周辺整備で修善寺駅から修善寺工業高校までの通学路整備計画は。

答 21年度は、熱海大仁線までの歩道を整備する予定です。

古川沿いの道路舗装、転落防止柵の設置、街灯設置を検討しており、継続的に実施していきたいと考えています。



修善寺工業高校の生徒が利用している古川沿いの道路

問 遊休農地解消事業の予算は。20年度は白地の遊休農地の調

査を行い、21年度は耕起用の機械等、借上料15万円計上し、市が直接作業を行うことや検討委員会を発足し、活動費とするものです。

問 市観光協会と観光商工課との連携強化をすべきと考えるか。

答 連携強化が重要と考え、21年度は観光協会に市職員を駐在させ、事業を進めたいと思います。

また、ゴルフ場、商工会、観光協会、旅館組合、交通関係者等々と異業種交流を行います。その中から、観光商品、観光誘客等に結びつけたいと考えています。

◆21年度下水道事業特別会計予算

問 21年度の工事内容と接続率は。

答 20年度からの継続で修善寺の沖ノ原中継ポンプ場・土肥の終末処理場改築工事で、管渠工事は大平地区と戸倉野地区を実施する予定です。

下水道事業完了地域の接続率は、土肥地区94%、修善寺地区70%、天城湯ヶ島地区60%、中伊豆地区50%です。

市政を問う

～ 一般質問 ～

3月定例会での一般質問は、3月9日、10日の2日間、15名の議員が40件について行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

ごみ焼却施設の移転

(梅原 泰嗣議員)

現在、柏久保衛生センター内にあるごみ焼却施設の移転について、移転先の候補地であった堀切地区を断念し、約1年になるうとしていますが、現在の進捗状況と今後のタイムスケジュールの2点について質問します。

市長 市答

新しい候補地については 現在調査中です

新しい候補地は調査中で、新候補地の決定には至っていません。これまでの検討作業を踏まえた上で、地域の状況、また住民の理解に重点を置き、進めます。

現時点では具体的な予定は立てられません
が、候補地が決定してから調査・計画に2、3年を必要とし、さらに、本設計や建設工事に3年程度の期間が必要と考えています。
しかし、前もって進められる業務は進め、全体スケジュールに影響が及ばないよう考えています。

質問

西伊豆・船原風力発電事業

(森島 吉文議員)

近隣の地区以外には情報がなかなか手に入りませんが、市民にはどのような情報提供をしていますか。

また、建設にあたり、伊豆市にとってどのような利点・メリットが生まれますか。

市長 市答

市民には広報と説明会にて 情報提供をします

風力発電事業は企画課で担当し、区長会や広報3月号にてお知らせをし、事業主による関係地区・観光関係者を対象とした説明会、市民全体を対象とした説明会の2回開催します。

伊豆市に対するメリットは、風力発電を設置することで、クリーンエネルギー供給に貢献すること、風力発電所の固定資産税収入、地権者の借地収入及び、管理用道路を林業の運営・管理道路として利用できるかと考えています。



3月23日に開催された風力発電事業説明会 (生きいきプラザ)

質問

修善寺駅周辺整備構想(案)

(杉山 羌央議員)

交番、観光案内所や行政窓口の設置、駐車場の整備等と共に、託児設備の有る駅舎にすべきと考えます。

なお、伊豆市の玄関として牧之郷駅の駅舎の改築も必要です。地元の木材を使ったユニークな話題性のある駅舎を、地元建築者や修善寺工業高校の生徒などで設計コンペを実施して、市民ぐるみの事業展開はできませんか。

長井市答

保育・託児所は困難
牧之郷駅は今後努力

現構想では、駅舎内は改札、鉄道施設、売店と南北中央広場、公衆トイレ、総合観光案内所等公共施設を予定しています。

地元との話し合いでも、南北を結ぶ自由通路がメインの構想でしたので、保育・託児所スペースの確保は考えていません。駅北にある民営化された保育園の活用をお願いしたいと思っています。

牧之郷駅舎については、ご指摘どおりだと思っています。修善寺駅整備計画が具体化した後、鉄道会社と相談させていただきたいと思っています。

質問

人口を増やす手立て

(内田 勝行議員)

これまで様々な対策を掲げ取り組んできましたが、人口減少に歯止めが掛かりません。現在実施している施策には、企業誘致・定住促進・ふれあい・子育て支援等がありますが、どれも起爆剤には至っていないと感じています。

この現状をどう捉え、今後どのように取り組むのか伺います。

長井市答

人口増は、住宅・所得・雇用の増加で実現

2月1日現在の人口は、3万6,169人。過去5年、年平均350人の人口減という危機的状況にあります。

これに歯止めをかけるには、住宅を増やして世帯を誘致すること。駅より5km以内に伊豆らしい良質な宅地造りを目指します。そのためには、具体的な都市計画作りに力を注いでいきます。

また、所得の増加は、農業の新たな特産品作り、観光振興を進めます。鹿ビジネス等可能なところから着手し、雇用・被雇用のミスマッチ解消に向けた努力も進めていきます。

質問

市有地の売却

(飯田 正志議員)

遊休市有地の有効活用は、地域の活性化や市の財政にも大きく関係する問題だろうと思います。

前議会の行財政改革特別委員会でも、市有地の早期売却を進めるべきとの提言をしましたが、その後の進捗状況についてと、今後どのように進めていくのか、市長のお考えをお聞かせ願いたい。

長井市答

民間への処分による
有効活用を進めていく

現在、未利用で今後も利用が見込まれない市有地は、地域の活性化や人口定住化の推進を目的に、順次処分を進めています。

21年度は、旧国民宿舎中伊豆荘、下白岩の警察官舎跡地、八幡の郵便局舎とバス車庫の跡地、中豆斎場跡地、六仙の里の一部売却を計画し、老朽建物の解体・測量・不動産鑑定等、準備をしています。

原保の森林管理署跡地は、下水道供用開始まで造成分譲を待つことにし、八木沢の旧国民宿舎土肥ふじみ荘は、改めて実勢価格を評価し、公募します。

質問

ごみ焼却炉の
建設計画の進捗状況

(稲葉 紀男議員)

ごみ焼却施設の仕切り直しの第一歩は、市民全体の合意形成と考えます。市長は、焼却炉の持つ危険性について、如何に考えますか。また、安全を担保するための方法について伺います。

さらに、市民、特に建設該当地域の人たちの理解と協力を得るためには、何が必要で、どのような方策を考えているか伺います。

長井
市答候補地が最終的に決まり次第、
速やかに報告を

決まり次第情報公開します。

ごみの焼却施設は環境基本法が基礎になり、ダイオキシン類対策等、法律の規制が多くかかっています。柏久保の老朽化した施設でもダイオキシンの検査をして、安全な数値でやっていますので、新しい施設の中でダイオキシンの危険な数値というものは、実際にはないわけです。

合意形成につきましては、住民説明会等ができる段階になれば、市民の皆さんの得心がいくまで、途中で打ち切ることなく説明し、議論をしていきたいと思えます。

質問

回覧板・配布物を
少なくできませんか

(森 良雄議員)

市役所から広報等の配布物がありますが、あまりの多さに悲鳴が上がっていませんか。区長や町内会長からの声は、届いていませんか。「少なくして欲しい」という声をどのように考えていますか。

2月の回覧板の一軒あたりの配布物は220gありました。配布物が多く、市民に読んでもらえない可能性も高いと思います。配布物の減量についてお聞きしたい。

長井
市答各区の役員の方々には
感謝しています

できるだけ「広報いず」に整理して掲載するように努めています。毎月定期に配布するものは広報いず、図書館だよりです。議会だより、学校だより、保育園だよりや各種団体の広報、市以外の行政機関の配布物等、多数お願ひし、時には10種類を超えることもあります。

重量は多くなっていると認識しています。配布に大変なご理解をいただいているのは重々承知していますが、必要な情報を市民の皆さんに提供するため、当分の間は、現状を継続させていただきたいと思えます。

質問

少子高齢化に伴い
社会保障・社会福祉は

(鈴木 初司議員)

伊豆市の少子高齢化率は、県平均を上回っています。社会保障・公的扶助・医療保障・福祉サービスについて、行政は将来に向けてどのように取り組んでいかれるか。

また、重点施策の子育て支援策に21年度予算で一億円近くつきました。具体的内容と一億円の予算配分について、お伺いいたします。

長井
市答社会保障・福祉等への
取り組み強化

行政と社会福祉協議会、民生委員等を含めた総力で、福祉サービスを維持していきたいと思えます。4月より、社会福祉協議会に課長級職員を出向させ、関係強化を考えています。

子育て支援策として、不妊治療医療費助成(10万円上限)、出産準備金支給(妊娠22週以降、胎児一人につき3万円)を新設し、妊婦健診助成回数を5回から14回へ拡大します。

出産祝金事業(第2子2万円、第3子以降5万円)は継続。子供の医療費助成については、500円の自己負担はしていただきますが、対象を小学校6年生までに拡大します。

質問
**ごみの有料化計画は
 撤回したらどうか**

(西島 信也議員)

今、不況下で市民は苦しんでいるのに、なぜこの時期にごみの有料化という新たな負担を強いるのか伺います。
 負担の公平化ということも言っていますが、現在約10円の指定ごみ袋を使用することによって、十分公平化が図られていると思うがいかがでしょうか。

**長弁
 市答**
**公共のサービスには
 応分の負担が必要**

伊豆市の景気は、2、3年で良くなるというものではありません。
 したがって、「今やるべきことは、今やる」ということです。

現在の指定ごみ袋の料金は実費で、収集作業の経費を負担しているものではありません。
 公共サービスには、

当然経費がかかるもので、そのサービスの量によって、応分の負担をしていただくのが、公平ではないかと考えています。



資源ごみ搬入の様子

質問
小中学校再編

(大川 孝議員)

小中学校の再編計画に、少なくとも市民が驚いています。行革の立場からではなく、市民の立場を第一義に、大多数の市民が十分納得できるような説明の機会がもっとあってもいいと思います。

また、統廃合の結果、誕生する新学校に関して、そのビジョンを明確にし、未来の教育環境の青写真を示すべきではないか、所見を伺います。

**長弁
 市答**
**通学費は
 全額公費負担にします**

再編についての市長としてのスタンスは、「複式学級にはしたくない。複式学級になりそうだったら統合する。」ということではなく、伊豆市の中で、最適な学校を子供達につくってあげるといふことです。

来年4月から、中伊豆地区、天城湯ヶ島地区、土肥地区においては、同時に小学校を一つに再編成したらいかがでしょうか。

負担が増えることはありません。全額、通学費は公費負担にします。

質問
修善寺駅周辺整備事業

(三須 重治議員)

商店街の活性化や非日常的に電車を利用する人達のために、北側に大きな駐車場を設け、南北通路により利便性を高めることは、市民サービスと経済活性化の両面から見ても有効だと思います。

しかし、厳しい財政展望の中、十億円を投じ駅舎建替えは、伊豆市の優先課題ではないでしょうか。計画の再検討はできませんか。

**長弁
 市答**
**第一次伊豆市総合計画
 重点プロジェクト**

修善寺駅周辺整備事業については、平成17年12月13日に承認いただいた「第一次伊豆市総合計画」の主要事業に明記され、さらに、交流基盤整備プロジェクトにおいても、修善寺駅周辺の整備を進めることが重点事項として掲げられています。本事業は、議会の皆さんの理解と同意を得て進めてきた事業です。
 立派な駅舎というものは、全く考えていませんし、駅舎の移転も念頭にはありません。
 修善寺らしく、伊豆らしい風情というのが、この構想の目指しているところです。

質問

地方自治体はどのようにあるべきか

(関 邦夫議員)

人件費の割合が25%を超えると大変だと言われていますが、交付税に頼る伊豆市では、自主財源の55%が人件費でなくなり、

優秀な職員によく現状を理解してもらい、今こそできることにアイデアと熱意で頑張ってもらいたい。借金も多く交付税に頼る伊豆市は、どのような自治を今後考えていますか。

市長
市答

より一層の行財政改革と伊豆らしい企画力

今後十年間に伊豆市総合計画に基づき、現在進めている集中改革プランに沿って、より一層の行財政改革を進め、限られた予算をどのようにに配分するか検討します。

その中で市長のリーダーシップは、きわめて重いものと自覚しています。

私は、伊豆市らしい行政を実現する企画力と、新たな時代を生き抜く勇気が、これからの伊豆市には必要だと思えます。

質問

修善寺橋交差点の事故対策の進め方

(室野 英子議員)

昨年またも死亡事故が発生、4人も亡くなっています。県警の専門家による事故診断が実施され、問題点の指摘と対策が提示されました。

今後の取り組みを伺います。

市長
市答

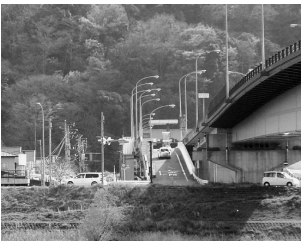
修善寺橋と鮎見橋のグラウンドデザインを作り、県・国へ

横瀬交差点の現地診断結果報告書、要望書及び現地視察により、問題点は認識しています。

信号機、道路の形状が指摘され、その解消のため長・中・短期の具体策が示されたので、早い改善が図られるよう、県に強く要望をします。

また、修善寺道路・伊豆中央道に交通の主体を移すために、無料化に向け、伊豆半島全体の問題として取り組むよう、お願いをしているところです。

さらに、修善寺橋と鮎見橋間のグラウンドデザインを作成し、県に対し説得力ある提案をしていきたいと思えます。



熊坂インターチェンジ

質問

市民の暮らしを守る 景気・経済対策

(杉山 誠議員)

景気の悪化は深刻で、市内でも企業倒産や休業を余儀なくされる会社が相次いでいます。市民は、必死になって生活防衛をしています。が、いつまで続くか分からないこの状況に、大きな不安を抱いています。

中小企業支援策や、定額給付金の早期給付とその有効活用など、市民生活を守る取り組みについて伺います。

市長
市答

定額給付金はプレミアム付き商品券で

定額給付金は、伊豆市で総額5億6千万円にもなりますので、なるべく多くを市内でお使いいただくようお願いいたします。

それには、全商店を対象とした10%のプレミアム付き商品券を発行して、使っていたものが有効と考えています。

景気・経済対策については、公共事業の前倒しを検討します。

予算が付けられているものについては、なるべく前倒しで発注できるよう措置をします。

質問
**クラス替えのない学校は、
 子どもの生きる力が弱いのか**

(木村 建一議員)

教育の評価は、時間がかかります。クラス替えのない小規模校は、伊豆市では二十年以上の歴史があります。教師の意見も聞かないなかで、「卒業した多くの子どもは、社会に出たときに生きる力が弱い」。だから、クラス替えができるように学校再編成が必要というのですか。

教育長 弁答
**特に小学校の場合
 社会性の醸成が図りにくい**

学級の人数が少ないと、意見の多様性に乏しく、学習内容の深まりに欠けがちです。また、成績の序列化が固定し、特定の子供の言動が集団に与える影響が非常に大きく、交友関係が固定化され、適度な刺激や切磋琢磨する場面が少なく、社会性の醸成が図りにくい。また、運動の面においても球技型スポーツができにくく、運動会等においてもダイナミックな集団活動の活性化が図りにくい等の問題があります。

意見書

3月定例会で意見書を採択し
 関係機関に提出しました。

**伊豆中央道及び修善寺道路の
 無料化を求める意見書(要旨)**

伊豆半島の中央部を南北に貫く国道136号・414号の交通渋滞を緩和すべく、昭和60年4月に伊豆中央道、平成10年3月には修善寺道路が開通し、伊豆中部のバイパスとして形成されました。

しかし、有料道路のため利用者は伸びず、特に地元住民の生活用道路としての利用は少なく、期待された渋滞が緩和されない状況です。

また、伊豆地域においても、市町ごとに生活に必要な機能を確保し、その連携を密にしていくためにも、両道路の役割は重要です。

伊豆地域は、富士山静岡空港の開港により交流車両の増加も予想されることから、両道路の無料化は、観光地である伊豆半島全体の交通網をスムーズにすると共に、住民の日常生活に利便性が増すこと等、その効果を期待できるため、通行料金の早期無料化を要望します。

提出先

国土交通大臣 静岡県知事
 静岡県道路公社理事長

**「地震防災対策強化地域における
 地震対策緊急整備事業に係る国の
 財政上の特別措置に関する法律」の
 延長に関する意見書 (要旨)**

予想される東海地震に備えて、地震対策緊急整備事業計画に基づき、各般にわたる対策を講じていますが、この計画は平成21年度末で期限切れを迎えます。

しかし、限られた期間内に緊急に整備すべき必要最小限の事業をもって策定されていることから、今後実施すべき事業が数多く残され、また、近年の国内外における大地震により得られた教訓を踏まえ、公共施設の耐震化、避難地・避難路の整備等をより一層推進する必要性が生じているため、この計画の根拠となっている法律の延長を、国に強く要望します。

提出先

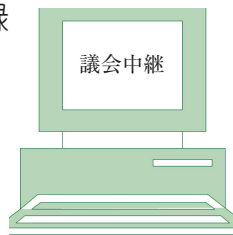
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣
 厚生労働大臣 農林水産大臣
 国土交通大臣 内閣府特命担当大臣(防災)
 消防庁長官 林野庁長官 水産庁長官

議会傍聴・視聴のお知らせ

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、天城湯ヶ島支所2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

また、本会議の中継（録画）を市のホームページにて視聴できますので、ぜひご覧ください。



（議会事務局 0558-85-2606）

「行財政改革特別委員会」が設置されました

伊豆市議会では、平成18年4月～8月、平成19年1月～8月、平成19年10月～20年5月と、「行財政改革特別委員会」を設置し、それぞれ議会に報告し、報告書を市長に提出してきました。

このたびの3月定例会において、平成22年6月定例会までを調査期間とする「行財政改革特別委員会」が新たに設置されました。

設置の目的

- 1 市の行政改革の進捗状況に関する調査、研究
- 2 行財政改革における特定重要項目に関する調査、研究
- 3 市民の目線に立った議員からの提言を行う

6月定例会の予定

場 所	時 間	日 時	議 程
天城湯ヶ島支所 議場	午前9時30分～	6月5日（金）	議案上程 提案理由説明
		8日（月）	一般質問
		9日（火）	一般質問
		10日（水）	議案質疑
		19日（金）	委員長報告・ 質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますので、ご承知ください。

委員長 大川 孝
副委員長 西島信也
委 員 鈴木初司 稲葉紀男
松本 覺 木村建一

編集後記

花は桜、桜と言えば染井吉野と、誰でもがイメージすると思います。しかし、そのルーツが伊豆であり、原木（少なくとも最古の）が伊豆市内に特定されていることは意外に知られていないようです。

3月18日に伊豆市の開花宣言をして以来、花冷えのお陰か、見頃がずいぶん長く続いている事はうれしい限りです。さて、議会だより20号をお届けする運びとなりましたが、現編集委員としては2号目となります。表紙をめくって頂けること、本文に目を通して頂ける親しみ易い紙面を作り、議会や行政の活動、議員の発言等、限られた文字数の中でするよう努めてまいります。そして、主権者たる市民の皆様のご意志決定の糧と成りうることを旨としております。ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

副委員長 松本 覺